

作成日 令和4年4月18日

令和4年度第1回 高松圏域自立支援協議会 精神保健福祉部会

WG 情報交換会議 議事録

日付	令和4年4月15日（金）
時間	10:00～11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室
	香川県障害福祉課、三光病院、大西病院、いわき病院、ピアサポーター、 相談支援事業所EVEN、高松市障がい者基幹相談支援センター（中核 拠点）、障害者地域生活支援センターほっと 順不同 計8名

※以下議事録、他の各資料中に GH、WG の記載があるときは GH＝グループホーム、WG＝ワーキンググループの意味である。

議題1：情報交換

議事	・ 病院内のコロナ感染予防対策のためなど、スタッフが出勤できない状況もあり、通常よりも人数の少ない状態に対応することが多くなっている。また、院内の活動についても制限が継続している。 ・ 一時的にデイケアが休止していた時期もある。 ・ 県として今年度のピアサポーター養成研修を検討中。四国合同開催の案もあり、今後さらに協議を進める予定。合わせて、ピアサポートについての企画研修についても調整中。 ・ 「はばたき」について令和4年度は5月の開催に向けて準備している。現在は今年度用のチラシを作成している。 ・ コロナ関連の対応により、感染していない入院中の方にも制限がかかることにより活動への参加意欲や気力の低下などの影響が出ている。
----	---

議題 2：医療と福祉の連携ワーキンググループの報告	
議事	・資料 1 参照 ・2 日間とも同内容で交流ワークショップを開催。Zoom にて前半は機関紹介、後半を 1 グループ 4 名ずつのグループワークの予定。このグループワークに用いる創作事例について、現在作成中。
決定事項	4 月 22 日申込締切 →事前資料を印刷し、参加者への送付予定。
今後の動き	開催直前の打ち合わせを 5 月 11 日（水）に実施する。

議題 3：ピアサポーター・スーパーバイザー派遣について	
議事	・資料 2 参照 ピアサポーター個別支援 4 件、その他派遣 1 件 ・個々の支援ごとの成果と課題について共有。 スーパーバイザー派遣 ・大川圏域精神保健副部会コア会議へ派遣。普及啓発やピアサポート活動など高松圏域の活動と共通する部分も多く、今後も協力していく。
今後の動き	・ピアサポーター派遣（個別支援）の依頼について調整中。 ・高松市健康づくり推進課「家族教室」へのスーパーバイザー派遣予定。

議題 4：ピアサポート活動推進ワーキンググループの報告	
議事	・資料 3 参照 ・令和 4 年度は半数のピアの参加が可能であれば、WG を開催する方向で進めていく。
決定事項	・ピアサポートについてのパンフレットの改定にかかる協議を中心に、アンケート結果も参考に「ピアサポーターになりたい方向け」と「ピアサポーター派遣・支援を受けたい方向け」の 2 種類のパンフレットに分けて作成する。
今後の動き	・上記、2 パターンのパンフレット作成について協議する。

議題 5：高齢者分野との連携に関する報告

議事	・資料 4 参照 ・高齢分野との合同研修を令和 4 年 11 月～12 月に対面と Web の組み合わせで開催予定。 ・事例を題材にし 90 分のグループワークを行なう。 ・高齢分野と精神障害分野のそれぞれの立場で考えられる事例とし、その支援の経過を受けて、感想や意見を共有することとする。
今後の動き	次回、WG を令和 4 年 5 月に開催予定

議題 6：精神科病院の地域移行に関する取り組み報告

議事	一部、法人内のグループホームへの体験入居が可能となったりしているが、県内のコロナ感染者数も依然多く、各医療機関とも退院支援に係る活動を制限、もしくは休止としている。
----	--

次回：令和 4 年 6 月 17 日（金）10：00～11：30

資料 1-1 精神保健福祉部会 保健・医療・福祉の連携ワーキンググループ

日時:令和 4 年 4 月 13 日(水) 10:00~11:00

場所:Zoom会議

参加者:EVEN、竜雲メンタルクリニック、支援センタークリマ、香川県障害福祉課、ほっと

○保健・医療・福祉の連携ワーキンググループの開催について (意見)

①企画当日の後半のグループワーク用の創作事例について

- ・事前に作成した A 案と B 案をもとに協議。
 - ・コロナ感染予防や不安も時期的には含まれるし、関係性について考えることが企画の主題でもあるため、B 案をもとに A 案をミックスしてはどうか。
 - ・もともと創作ではあるが、事例にある程度の自由度があったほうが、意見が出しやすいかもしれない。
 - ・それぞれの立場で意見を出し合って、それらの出た意見にさらに話し合っていくと広がっていくよう進行。
 - ・タブレット参加の方にも配慮して、1 グループ 4 名の構成(グループリーダー含む)
 - ・今回は事例の検討ではなく、参加者の意見を重視するグループワークとなる。
 - ・そうは言っても、年齢や家族構成、本人の意向やサービス内容などは具体性がないとイメージしづらいかもしれない。
- 次回までに 創作事例を作成する。また当日は画面共有にて事例の説明を行なう予定であるため、事前の事例配布はしない。

②タイムスケジュールの確認

- ・前半 1 時間を各参加者のプレゼン、後半 1 時間をグループワークの予定。
- ・プレゼンは各 3 分以内と決めていたが、参加人数によって余り時間が出た場合には、質問時間を設けてもよいのでは。→両日ともに参加人数が決定して以降に時間配分を再調整する。
- ・グループごとの振り返り、感想のあと、当初はそのまま終わりの予定であったが、終了 2 分前にグループ分けを解除し、メインルームに戻ってから、全員で「お疲れさま」と、終了したほうがいいかもしれない。

③その他

- ・日程ごとの運営スタッフの確認。

参加人数にもよるが、グループリーダーの数が WG スタッフだけでは足りない場合は、参加者の中の精神保健福祉部会メンバーに担当していただけるように事前に相談する。

●次回、企画の本番直前打合せ → 5/11(水) 13:30~ Zoomにて実施予定。

機関紹介シート

R4保健・医療・福祉の連携WS

資料1-2

機 関 名		所在地		似顔絵、写真など
		TEL		
		FAX		
ふりがな		職種		
担当者氏名		保有 資格		

機 関 の 基 本 情 報	①管理者氏名 ②職員数、男、女 ③利用者数 ④職員の保有資格、NS、OT、PSW等 ⑤特徴 ⑥今年度の目標

利 用 者 の 現 状	
----------------------------	--

担 当 者 の 自 己 紹 介	趣味、プチ自慢、マイブーム、何でもご自由に
--------------------------------------	-----------------------

私 の 支 援	モットー(こんな事を大切にしています等)
	強み(こんな点は得意です等)と苦手(どちらかと言うとよく分からない分野、これからの課題など)

令和 4 年 4 月 5 日

関係各位

高松圏域自立支援協議会
会長
(公印省略)

保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップ(第 5 弾)の開催について(御案内)

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本協議会の活動に関しまして、格段のご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本協議会では、精神障がい者が、地域で自分らしく安心して生活できるようになるためには、保健、医療、福祉等の関係機関が顔の見える関係となり、精神障がい者の支援における課題やあり方について検討し合える関係づくりが急務であると考え、別紙要綱に基づき、「保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップ(第 5 弾)」を開催いたします。

ご多用中、誠に恐縮ではございますが、ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

1 日程：

①令和 4 年 5 月 18 日(水) 14:00～16:00 Zoom(オンライン)

②令和 4 年 5 月 21 日(土) 10:00～12:00 Zoom(オンライン)

※両日とも同一の企画を実施いたしますので、ご都合の良い日程にご参加ください。

2 対象：高松圏域の精神科医療機関、訪問看護ステーション、相談支援事業所、行政機関に勤務する職員等

3 内容：各関係機関の紹介とグループワーク等

【問い合わせ先】

社会福祉法人 翠睦福祉会

障害者地域生活支援センターほっと

電話：087-840-3770

MAIL：hot3770@shirt.ocn.ne.jp

令和4年度 保健・医療・福祉の支援者 交流ワークショップvol.5

「利用者との関係性について それぞれの立場で考えよう！ こんな時どうしたん？」

✿ 日程・場所

2回に分け、オンラインで開催とする。

令和4年①5月18日(水)14時～16時

②5月21日(土)10時～12時 のいずれかにZOOMで参加する。

✿ 内容

利用者への支援の中でいきづまった時に、それぞれがどのように対応しているかを紹介しあいつつ交流を持つ。

✿ 締切り・申込先

締切り 4月22日(金)

申込先 障害者地域生活支援センターほっと

hot3770@shirt.ocn.ne.jp メールのみ受付

要綱を見てね！



✿ 主催： 高松圏域自立支援協議会精神保健福祉部会

保健・医療・福祉の支援者交流ワークショップ(第5弾)要綱

1. 目的：

精神保健福祉分野において地域包括ケアシステムを構築するにあたり、医療と福祉の支援者が円滑に連携できることが必須である。支援者同士の顔の見える関係作りを目的として、これまで交流ワークショップを開催し、多くの方々に参加していただいていたところである。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のためオンラインのみの開催とし、これまでの顔の見える関係づくりに加えて、職種間の連携の中で利用者との関りについて意見交換を行なう。

2. 日程・方法：

①令和4年 5月18日(水) 14:00～16:00 Zoom(オンライン)

②令和4年 5月21日(土) 10:00～12:00 Zoom(オンライン)

※両日とも同一の企画を実施。

3. 対象：高松圏域の精神科医療機関、訪問看護ステーション、相談支援事業所、行政機関に勤務する職員等

4. 内容：『利用者との関係性についてそれぞれの立場で再考しよう。』

事前に機関紹介用のシートを記載していただいて、当日の機関紹介と「利用者との関り」に焦点をあてたグループワークを実施。

5. 申し込み：障害者地域生活支援センターほっと

hot3770@shirt.ocn.ne.jp までお申し込み下さい。メールのみの受付です。

【申し込み留意事項】

- ・メールのタイトルを「支援者交流ワークショップ申し込み」として下さい。
- ・メールには、1：当日参加者名(参加人数分)、2：所属機関、3：職種、
4：希望日(①もしくは②)、5：事前資料の送付先を記載してください。

(資料については参加人数分を送付いたします)

※申し込みの際に入力した機関紹介シートを必ず添付してください。また送信いただいた個人情報
は、本ワークショップの運営、お問い合わせのみに使用し、その他の目的には利用いたしません。
作成した機関紹介シートにつきましても、参加者のみに限定した配布とし、その他の配布はいたしません。

- ・日程ごとに定員が20名に達ししだい締切とさせていただきます。
- ・申し込み状況により、参加者が2名以下の日程については中止させていただくことがあります。
- ・皆様の日程が決まり次第、運営者より参加確定メールを返信しますので、日程や参加用のID・パスワード等をご確認ください。

6. 締め切り：令和4年4月22日(金)

7. 主催：高松圏域自立支援協議会精神保健福祉部会

以上

資料2 令和3・4年度 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業
スーパーバイザー及びピアサポーター派遣業務 実施報告書

(1) 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業
期間：令和4年2月1日から令和4年4月12日

本事業の内容	大川圏域自立支援協議会精神保健福祉部会にスーパーバイザーを派遣
日時・場所・スーパーバイザー氏名 対象者・内容等	・日時：令和4年2月25日（金）10：00～12：00 ・場所：さぬき市役所寒川 301会議室 ・スーパーバイザー：相談支援専門員 ・対象者：大川圏域自立支援協議会精神保健福祉部会コア会議委員 ・内容：大川圏域自立支援協議会精神保健福祉部会コア会議において実施される精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みの企画会議において高松圏域での経験をもとにアドバイスを行う。
成果及び課題	・成果：大川圏域における精神障害にも対応した地域包括システム構築に向けて、次年度は委員から上がった啓発ニーズを中心に活動していくことが確認できた。また、その実行のためにメンバーを選定し、より具体的に計画を詰めていく予定。 ・課題：精神部会だけでなく、相談部会と共通する内容については共同企画をして進めることも検討すべきではないか。

(2) ピアサポートの活用に係る事業（個別支援）
期間：令和4年4月1日から令和4年4月12日

本事業の内容	市内に在住の精神障がい者宅にピアサポーターを派遣
日時・場所・ピアサポーター氏名・相談者・内容等	・日時：2月16日（水）13：00～14：00 ・場所：市内に在住の精神障がい者宅 ・ピアサポーター：A氏 ・相談者：市内に在住の精神障がい者 ・内容：高松市健康づくり推進課保健師同行の元、ピアサポーターによる個別相談支援

本事業の内容	市内に在住の精神障がい者宅にピアサポーターを派遣
日時・場所・ピアサポーター氏名・相談者・内容等	・日時：2月2日（水）10：00～10：50 3月2日（水）10：00～10：50 ・場所：市内に在住の精神障がい者宅 ・ピアサポーター：B氏 ・相談者：市内に在住の精神障がい者 ・内容：支援者同席の元、ピアサポーターによる個別相談支援

本事業の内容	市内に在住の精神障がい者宅にピアサポーターを派遣
日時・場所・ピアサポーター氏名・相談者・内容等	・日 時：3月3日（木）15：00～16：00 ・場 所：市内に在住の精神障がい者宅 ・ピアサポーター：C氏 ・相談者：市内に在住の精神障がい者 ・内 容：相談支援専門員同席の元、ピアサポーターによる個別相談支援

本事業の内容	市内に在住するピアサポート活動に関心のある当事者にピアサポーターを派遣
日時・場所・ピアサポーター氏名・相談者・内容等	・日 時：3月4日（金）15：00～16：00 ・場 所：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 ・ピアサポーター：D氏 ・相談者：市内に在住の精神障がい者 ・内 容：精神障がい者分野のピアサポーターとして活動したいと希望している対象者に対して先輩ピアサポーターからピアサポート活動の定義、有効性、活動を行う上での心構え等について説明したうえで、質疑応答を行う形式。

（３）ピアサポートの活用に係る事業（その他）

期間：令和４年２月１日から令和４年４月１２日

本事業の内容	基幹センター地域拠点・中核拠点合同会議にを派遣
日時・場所・ピアサポーター氏名・相談者・内容等	・日 時：4月12日（火）14：00～14：30 ・場 所：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 ・ピアサポーター：E氏 ・対象者：基幹センター相談支援専門員 ・内 容：令和２年度に老人介護支援センター相談協力員対象に実施した体験談発表の際に講演いただいたピアサポーターから実践報告を行い、意見交換する。ピアサポート活動の有効性を実感いただく取り組み。

資料3 令和3年度 第2回 ピアサポート活動推進ワーキンググループ報告

1. 令和4年度の予定

月	ピアサポート活動推進 WG	ピアアポーターバンキング
4月		
5月	対面開催 集まれる方のみ	
6月		交流会
7月	対面開催 集まれる方のみ	
8月		
9月	対面開催 集まれる方のみ	研修会
10月		
11月	対面開催 集まれる方のみ	
12月		交流会
1月	対面開催 集まれる方のみ	
2月		研修会
3月	対面開催 集まれる方のみ	

2. 会場：香川県精神保健福祉センター

3. 目的：ピアサポーターの普及啓発活動

4. 令和4年度の方向性

アンケートの集計結果を踏まえ、「ピアサポーターになりたい方用」「ピアサポーターを派遣してほしい方用」のパンフレットの作成及びその後どのように周知するかについて検討する。

5. その他

香川大学医学部看護学科での体験談発表の件

1年生対象：5月16日（月）

2年生対象：6月29日（水）

資料4 令和3年度 第4回 精神保健福祉部会 高齢者福祉分野との連携に関するWG
記録

1. 日 時：令和3年3月2日（水）13：00～14：00

2. 前回WGの振り返り

3. 高齢者福祉分野との研修

令和4年12月頃を想定

今後、対面、WEBを組み合わせた形式で開催できないか検討する。

4. 地域包括支援センターが提出する事例を題材にしたグループワーク

（グループワークに要する時間）

約90分を想定

（グループワークの流れ）

事例紹介⇒グループワーク①⇒その後の支援の経過報告⇒グループワーク②⇒

⇒グループ発表及びまとめ 時間配分は追って決定する。

（グループワーク①）

本事例において、精神保健福祉分野と高齢者福祉分野が連携しながら世帯全体を支援するためには、どのようなことに配慮すべきか考える。

（グループワーク②）

その後の支援の経過報告を受けて、感想や意見を共有する。

（グループ発表）

グループワーク①②で話し合った内容を発表し、全体で共有する。

7. 次回WG

・日 時：令和4年5月頃（後日、日時を調整）

・内 容：本研修で事例紹介として活用する事例の確認

資料 5 病院 WG 報告書

病院名	三光病院
作成日	令和 4 年 4 月 5 日
内 容	<u>1.病院 WG 実施状況</u> ①退院支援プログラムの実施状況 【いそどりグループ】 奇数月 第 2 火曜日 14 : 30～ R4 年 3 月 院内フェーズが上がるとともに香川県の感染拡大状況を受け中止になった。 【笑顔を広げる会】 毎月 第 4 火曜日 14 : 30～ R4 年 2 月、3 月 院内フェーズが上がるとともに香川県の感染拡大状況を受け中止になった。 ②今後の退院支援プログラム運営について 実施についてはコロナウィルス感染状況を踏まえ、その都度開催については検討をしていくことにする。 <u>2.地域移行支援について</u> 特になし